

# 生産性向上、先端技術学ぶ

## DXの現状と建設業へ展開

新大、小野組

新潟大学と小野組(小野貴史代表取締役社長)は25日、地域社会インフラ整備担い手育成リスキリングプログラムの一環として、同大駅南キャンパスとときめいとで「DX(デジタル・トランスフォーメーション)の現状と建

設業への展開」をテーマに、今後の方向性などを議論した。この日は建設業者や、建設コンサルタントの技術者等、約10人が参加した。先端技術を学ぶとともに、建設業の省力化および生産性向上に役立てるの狙い。



建設DXの方向性を議論した参加者  
講師には同大ビッグデータアクティベーター研究センターの山崎達也センター長・教授を招き、DXの現状に関する網羅的な説明に加え、アイ・コンストラクション2.0

# 表彰式を開催

## 市の今年度優良工事

質な工事の確保を目的として、市発注工事では1979年から、ガス水道局発注工事では2007年から実施している。選定対象は23年度に完成した工事とそれに従事した技術者。受賞予定は優良工事26件(31社)と

+地区別受注状況					単位:百万円
下越	佐渡	小計	県外	計	
9,944 ▲7.4	230 13.9	25,404 10.9	14,991 9.8	40,395 10.5	
26,826 ▲24.1	4,762 7.2	82,257 ▲6.3	18,250 75.6	100,507 2.4	
36,770 ▲20.2	4,992 12.3	107,661 ▲2.7	33,241 38.6	140,902 4.6	
5,440 1.9	302 ▲35.2	14,876 ▲26.2	4,404 26.3	19,280 ▲18.5	
4,978 ▲19.8	1,466 7.1	18,225 14.7	5,442 ▲14.0	23,667 6.5	
10,418 ▲9.8	1,768 ▲3.7	33,101 ▲8.2	9,846 0.3	42,947 ▲6.4	
46,522 17.7	1,328 ▲51.5	92,547 25.9	64,216 ▲9.6	156,763 8.5	
11,609 12.8	265 ▲79.3	28,578 ▲4.6	1,144 44.6	29,722 ▲3.3	
58,131 16.7	1,593 ▲80.4	121,125 17.1	65,360 ▲9.0	186,485 6.4	
4,690 ▲11.2	503 210.5	12,939 ▲4.7	3,333 6.0	16,272 ▲2.7	
559 92.1	100 194.1	1,144 51.7	1,239 720.5	2,383 163.3	
5,249 ▲5.8	603 207.7	14,083 ▲1.7	4,572 38.7	18,655 5.8	
56,466 12.4	1,558 ▲47.0	117,951 22.3	79,207 ▲6.5	197,158 8.9	
38,435 ▲15.8	5,027 ▲9.0	110,835 ▲5.9	19,394 74.3	130,229 1.1	
94,901 ▲1.1	6,585 ▲22.2	228,786 6.8	98,601 2.9	327,387 5.6	
10,130 ▲4.6	805 28.2	27,815 ▲17.5	7,737 16.6	35,552 ▲11.9	
5,537 ▲14.7	1,566 11.6	19,369 16.9	6,681 3.1	26,050 12.7	
15,667 ▲8.5	2,371 16.7	47,184 ▲6.3	14,418 1.0	61,602 ▲3.0	
110,568 ▲2.2	8,956 ▲14.7	275,970 4.3	113,019 3.8	388,989 4.2	

# 元請計3274億、下請は472億

## 県建設業協会が会員受注状況

9月分

新潟県建設業協会(福田勝之会長)は28日、9月の建設工事会員受注状況を公表した。これによると、元請計274億となり、前年度比5.6%(174億)の増加となった。元請受注状況の前年同月比では、公共は土木が16.2%(34億)、建築は1.6%(7000万円)とともに減少し、13.8%(35億)減少。民間は土木が16.9%(16億)、建築は3.2%(14億)といずれも減少し、計5.6%(30億)の減少だった。9月末の県内受注は、公共が1108億(前年度比5.9%減)となり、内訳が土木823億(同6.3%減)、建築が286億(同4.6%減)。民間は1180億(同2.7%増)で、内訳が土木は254億(同10.9%増)、建築が925億(同2.9%増)。合計は2228億(同6.8%増)とし、内訳は土木1077億(同2.7%減)、建築が1211億(同17.1%増)だった。また、下越が12.8%(13億)と増加したが上越および佐渡が振るわず計4.6%(14億)減少した。民間をみると、上越が40.8%(36億)、中越

をほしめとする建設業におけるDXの取り組みについて事例を中心とした講義が行われた。また、異形ブロックシミュレーションに関する地域建設業との共同研究成果等の具体的な事例も紹介された。また、質疑応答では大学が提供する新潟大学共同教育講座「スマート化を推進するためのICT講座」への参加方法などの問い合わせがあった。同大社会連携推進機構の須藤達美特任教授は、担い手育成リスキリングプログラムに関して「土木工学分野に関するポトムアップを目的とした基礎技術と結びつけた。力向上のほか、一部にCPDS(継続学習制度)の取得も可能な最新技術・応用技術に関する講座や、実習、資格取得支援、現地見学会等の各種講座を通じて即戦力を育成することが目的」と呼び掛けた。

### 竹内電設と不調随契

#### 鵜川ダム管理所電気設備

新潟県土木部 県土木部

新潟市は29日、次の水道管更生工事3件を一挙に実施する。方式で一般競争(一抜け方式)で公告した。申請書は11月5日まで受け付ける。▽万代排水区枝線1155164、中央区明石1丁目他地内。工事概要は本管更生工φ450mm、L#35、13、φ700mm、L#111。05、取付管更生工2カ所。▽白山排水区枝線464

### 一抜け、5日まで

#### 万代排水区管更生など

新潟市

44.0%(99億)、下越が17.7%(470億)といずれも増加したが、佐渡は振るわず計25.9%(190億)の増加。